



なごやっ子 2026



名護屋小学校 学校だより No. 6
文責 校長 砂原 聡

2学期スタート

校舎に子供たちの元気な声もどってきました。昨年度よりも長い夏休みいかがお過ごしだったでしょうか？元気な子供たちとまた会えたことが私たち職員にとって一番の喜びです。

自然災害の恐ろしさを改めて感じた夏休みでした。地震、大雨、台風、・・・外国では信じられない規模の土石流、いつどこで何が起こるかわかりません。日頃の備えについてこれまで以上に考えていく必要があると感じました。海や川などでの水の事故も各地で起こりました。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、避難生活を送られている方の日常が早く取り戻せることを願っています。



さて、2学期を迎え、子供たちは1学期の振り返りを基に、新たな目標を思い描いていることと思います。目標とは、自分ができるようになりたいこと、なりたい自分を想定することです。そんな未来の姿を見据えて、具体的に何をするか、何を頑張るかを設定することが大事です。

「忘れ物をなくす」「算数をがんばる」だけでなく、一歩進んで、「忘れ物をなくすために帰ったらすぐに準備する」「算数ができるようになるために、毎日復習する」というように、具体的な行動にしていけます。することがはっきりしていれば、振り返りもしやすくなります。「帰ったらすぐに準備すると決めたと、できない日もあった」「毎日復習したから算数が好きになってきた」のように行動を振り返り、新たな気持ちで前を向いて進むことができます。時には、実現のための方法を変更し、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐ準備して、朝もう一度確かめる」と修正することで、なりたい自分に近づいていきます。

授業の中でも「振り返り」を大切にしています。「そういう考えもあるのか」、「〇〇さんの考えを聞いて、～に気付いた」など、友達のいろいろな考えに触れ、交流していく中で真実を見付けたり、考えをより深めたりすることができます。間違いや失敗の中から生まれた新たな考えや発見が今の私たちの便利な生活を支えています。間違いや失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジする2学期にしてくれると嬉しいです。



今学期もどうぞよろしくお願いいたします。